



いまべつ

No.226

12月定例会

議会だより



今別こども園「もちつきかい」

【第501回議会定例会】

主な議案の内容	2～4
「町政を問う」では6人が一般質問	5～10
行政財産無断搬出に関する報告	11

【議会の動き】

福島県田村市議会「改革未来たむら」会派議員行政視察	11
令和7年10月～12月の議会の動き	12

【編集後記】

議会広報委員会：委員 中嶋 恵	12
-----------------	----

今定例会に提案された条例の制定・一部改正

今別町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
今別町特別職の職員の給与条例の一部改正
今別町職員の給与条例の一部改正
今別町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
今別町議会議員及び今別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

12月定例会 (11/28~12/2)	
専決報告	1件
補正予算	6件
規約 (県総合事務組合)	2件
指定管理者指定	2件
教育委員の任命	2名

議員及び特別職	
年3.4月	→ 年3.5月
職員期末手当	
年2.5月	→ 年2.525月
職員勤勉手当	
年2.05月	→ 年2.125月

青森県人事委員会の勧告に基づき、議員及び特別職における期末手当の支給割合を引き上げられた。また、職員は若年層の職員を中心に、全職員の給料表の改定や期末手当及び勤勉手当の支給割合が引き上げられた。

職員の給与条例

等を一部改正

乳児等通園支援事業

に関する基準を制定

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、「こども誰でも通園制度」を「乳児等通園支援事業」として新たに創設し、当該事業の設備及び運営についての基準を定める条例が制定された。



※子ども誰でも通園制度とは？
「こども未来戦略」に基づき、令和7年度に創設された制度。保護者の就労状況にかかわらず、生後6ヶ月～満3歳未満の未就園児を対象に、保育施設等を利用する事ができる。月一定時間の利用可能枠内であれば、1時間単位で利用できるのが特徴。
(子ども家庭庁HPより抜粋)

**第501回
定例会**

令和7年11月28日から12月2日の5日間で行われた第501回議会定例会では、専決報告1件、議案17件の計18議案が提案され、全て承認、可決、同意されました。

12月1日に行われた一般質問では6議員が質問を行い、町政に問いました。

(質問の内容は5ページから10ページに記載しています。)
なお、提案された議案及び質問内容は次のとおりです。

【一般会計補正予算】

鳥獣被害防止対策の

補助金を増額補正

鳥獣被害防止対策協議会への補助金が増額となった。補正額は80万円。今年度、巡回回数が増加したことや箱罾の購入など、熊対策にかかる補正である。箱罾の購入については、町及び県から協議会へ補助金が交付される。



→購入する箱罾と同じ形状のもの

(本間闘士議員)

問

現在、町の猟友会の中で常時巡回できる人数が限られており、今後巡回の回数を増やすことは難しいのでは？

産業建設課長

今回の

補正は今後の回数増加を見越したものではありません。現時点で昨年度の実績を上回っているため、補正したものである。

災害時用備蓄食料を購入

県の防災・減災強化に係る取組の一環として実施される、市町村備蓄品の「共同調達」に伴い、災害時用備蓄食料（アルファ化米）の購入費として、254万1千円が補正された。

(本間闘士議員)

問

今回購入する1万650食は、何日分の食料で、何名分を想定しているのか。また、購入する商品の中に水は含まれているのか？

総務企画課長

最大避

難者710名、1日3食として、5日分を想定している。

なお、今回購入する

品目の中に水は含んでおらず、米類の商品を中心に購入する。

※アルファ化米とは？

アルファ化米の「アルファ化」とは米に含まれるでんぷんの状態を指しています。炊きあげたご飯をすぐに急速乾燥させ、水分を取り除くことで炊飯した後のご飯を維持できます。そのため、お湯や水を加えるだけで、火を使うことなく炊きたてと同じようなご飯を食べられます。

(農林水産省HPより抜粋)



地域おこし協力隊

事業者派遣

地域おこし協力隊員2名分の人件費が減額となった。理由としては、隊員の応募が見込まれないため。

(田中哲也議員)

問

今年度の地域おこし協力隊員の募集はどのように行っているのか。また、来年度も募集の予定はあるのか？

総務企画課長

今年度は

事業者派遣型での募集を行い、予算は隊員3名分を計上している。町内事業者との面談等を行い、現在1社への派遣を進めている。来年度も引き続き募集を行う予定としている。

様

交付No. _____

今別町物価高騰対策支援灯油18リットル購入助成券

指定業者 (株)小鹿産業、(株)武蔵屋、JA青森農協
 有効期限 令和8年3月25日
 発行年月日 令和7年12月12日
 発行者 今別町長 阿部 義治



今年度配布された灯油助成券



近年の物価高騰に対する生活支援として実施している灯油購入費の助成を今年度も行うこととなり、関連予算が可決された。補正額は834万9千円。これまでは非課税世帯を対象に実施してきたが、今年度は全世帯（世帯分離していても、同居が明らかな世帯は同一世帯とする）を対象として、灯油18リットル分の助成券3枚を令和7年12月に配布した。

今年度も灯油購入の助成実施



駅開業時に行われたお出迎えの様子

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が令和8年3月26日で開業10周年を迎えるにあたり、記念事業に関する予算が可決された。補正額は150万円。事業内容としては、記念ノベルティや駅連絡通路への横断幕設置、さらに駅ホームでの新幹線のお出迎えや、青函トンネル入口広場でのお手振りを行う予定としている。

奥津軽いまべつ駅

開業10周年記念事業を実施

綿谷 敏明 議員



1 熊対策について

①町の熊捕獲体制は？

産業建設課長 鳥獣被害防止対策協議会実施隊として、今別猟友会9名を委嘱している。目撃情報があった際には、このメンバーに加えて町職員、警察等と周辺のパトロー^{パトロール}ルや、状況に応じて箱罠^{はこわな}を設置することとしている。

再質問

答弁にあつた箱罠は、熊など大きな動物に対応できる物か？

産業建設課長

当町が保有する箱罠のうち、1基は熊専用箱罠を所有している。

Q. 蟹田駅階段通路の解消は？ A. 6月18日着工、令和8年8月完成予定

再質問

役場関係課職員の箱罠設置免許取得を進めていただきたいと思うが、町長の考えは？

町長

機会があれば、職員にも取得させたい。

②町の熊駆除対策は？

産業建設課長

鳥獣保護管理法に基づく捕獲許可を実施隊9名に発行している。

再質問

町の熊駆除における報酬額の体制は？

産業建設課長

熊が出没した場合の現場確認に出動の際も、他の鳥獣捕獲と同額となっている。ただし、熊に関する報酬額は外ヶ浜町と相談しながらとなるが、報酬の増額

について検討している。

③町の緊急銃猟実施に関する体制は？

産業建設課長

県から示された「緊急銃猟対応マニュアル」を基に、今別町版のマニュアル作成を進めている。

※緊急銃猟とは？

人の日常生活圏（農地や河川敷、建物内等）に熊、イノシシが出没した際、左記の条件を十分に満たした上で、市町村長の判断の下、銃猟を可能とする制度。

- ・人の日常生活圏に侵入していること。
 - ・人命または身体への危害を防止する措置を緊急に講ずるべきと判断した場合。
 - ・銃猟以外の捕獲が困難な場合。
 - ・銃猟による第三者への危害が及ばないと判断した場合。
- （環境省HPより抜粋。）

2 物価高騰対策について

①現在も続く物価高騰に對して、町として何らかの支援策が必要では？

総務企画課長

今定例会に補正予算を計上しているが、物価高騰生活支援事業として、全世帯を対象に灯油代の助成を予定している。

再質問

政府の実施する、ガス、電気料等の支援やお米券配布などが報道されている。町として、水道料の基本料金3か月免除を実施していただきたい。

町長

国の動向を見ながら、議員の皆様とも相談しながら検討したい。

3 J R 津軽線代替え交通について

①蟹田駅における階段通路解消の進行状況及び解消の時期は？

総務企画課長

6月10日の基本合意締結後、9月4日に開催されたデザイン会議において進捗状況の報告があり、6月18日から工事に着手。2026年お盆前までの工事完了に向け、各種工事が順次行われている。



太田 英一 議員



1. 各種補助金の現状について

①今年度の補助金申請件数と交付決定件数は適正に推移しているのか？

総務企画課長 昨年度よりも申請や交付手続きが早い時期から行われていることから、適正に推移しているものと認識している。

②補助金、交付金の採択について、厳正な基準は定められているのか？

総務企画課長 今別町補助金交付規則に沿って認定、決定している。

Q. 今年度の補助金等の件数は

A. 適正と認識している 適正に推移しているか？

再質問

補助金、交付金の採択にあたっては、規則を遵守するだけでなく、その時代に合った対応を検討いただきたい。

総務企画課長 条例・要綱・規則を遵守しつつ、

社会情勢に合った補助金・交付金・助成金に関しては、すぐに対応できるように取り組んでいきたい。

2 町内の福祉施設数の現状について

①町内の介助、介護福祉施設数及び利用者数は？

町民福祉課長 介護福祉施設数は特別養護老人ホーム及び地域密着型グループホーム、介護付き有料老人ホームの入所施設が3か所、デイサービスセ

ンター及びホームヘルパーステーションの在宅サービス事業所が2か所である。

利用者数は、令和7年10月現在、入所施設は93名、在宅サービスは55名

である。近年、町内でのサービス利用者は減少傾向にあるが、青森市及び近隣町村での利用者数は増加している。

②町政と住民福祉関連事業の今後の計画は？

町民福祉課長 高齢化が進んでいる当町において、医療・介護・予防・福祉・生活支援を一体となって取り組む「包括ケア」の推進は不可欠である。急速な人口減少や高齢化が進む中、町内の医療、介

護の現場では、人材確保や運営など様々な課題を抱えている。これらの諸問題に対応していくため、医療機関や介護事業所はもとより、県や近隣町村

と連携を図り、それぞれの課題解決に向けた取組を検討する。



本間 闘士 議員



1 熊対策について

①熊への対策強化について、町の考えは？

産業建設課長 当町でも目撃情報が増加傾向にあることから、町内のパトロールを継続して実施している。また、猟友会と協議しながら国・県の補助金を活用し、箱罠の追加整備を進めたい。

再質問

野生動物は自然風景に紛れやすく、熟練のハンターでも肉眼だけでは発見は困難である。そこでサーモカメラ等の熱源探知機導入による巡視体制の強化について、検討する考えは？

Q. 熊対策についての考えは？
A. 補助金を活用し箱罠を増やしたい

はこわな

産業建設課長 茂みの中にいる野生動物を熱源感

知で発見するサーモカメラの存在は町でも認識している。また、実際に猟友会の方とパトロールを行った際に「茂みの中が何も見えない」などの声も聞いているため、今後導入について猟友会と協議する。



②今後の猟友会員確保について、町の考えは？

産業建設課長 当町では猟友会への入会が条件となるが、令和6年度より

狩猟免許取得費用の補助について予算を確保している。また、県でも狩猟免許等取得促進事業が開始されたことに伴い、これらの事業を町内に広く周知し、人員確保に努める。

再質問

町と県の事業には、助成制度が重複している部分がある。町従来の助成制度を見直し、県が助成していない部分への支援を強化することで、より一層の人員確保に繋がるのでは？

産業建設課長 おっしゃるとおり、町と県の事業

では内容が重複する部分もある。また、町では補助対象としていない部分

が、県事業で対象としているものもある。しかし、県がいつまで事業を継続するのか確認できていないため、県の動向も確認しつつ、検討を進めたい。

③当町においても熊用箱罠を導入すべきでは？

産業建設課長 当町では、熊用箱罠を1基所有している。今後、対策強化のため、国・県の補助金等を活用し箱罠の追加整備を検討している。

④緊急銃猟について、仮に人身や農作物に被害が及んだ場合に備え、あらかじめ明確な仕組みを整える必要があるのでは？

産業建設課長 県から示された「緊急銃猟対応マ

ニュアル」のひな型を基に、今別町版のマニュアル作成を進めている。また、熊が住宅地等に出没した際に実施できるよう猟友会とも協議を始めている。

再質問

マニュアルが決定するまでの間に、万が一熊による被害が発生した場合の対応はどのような流れになるのか？

産業建設課長 報道にも

ある通り、自治体の長の判断で実施できることとなつているため、マニュアル作成前でも、緊急の場合は関係機関と協議し、町長の判断の下、実施する流れになる。

中嶋 惠 議員



1 JR津軽線のその後
の線路上の雑草等の処理
について

①雑草等への対策につい
てJRとの協議が必要で
は？

総務企画課長 JRに対
しては定期的な草刈り及
び冬場の除雪について要
望を行っている。また、
10月30日に行われた町長、
外ヶ浜町長、県及びJR
東日本の代表者が出席し
た会議においても、町長
よりJRに対して管理の
徹底について強く要望を
行った。



Q. 津軽線線路内の雑草処理

A. JRへ強く要望している
について協議は？



2 熊の出没対策につい
て

①町の対策は？

産業建設課長 熊の目撃
情報があれば、今別猟友
会及び町職員、警察等に
よる現地確認及びパトロー
ルを実施している。また、
猟友会及び警察と協議し
たうえで、箱罾を設置す
ることとしている。

3 町の海岸線のゴミ対
策について

①関係団体等とも協力し
て、より一層の清掃活動
を実施すべきでは？

町民福祉課長 当町では、
県の補助金を活用し、海
岸線の清掃活動を実施し
ている。今後も事業を継
続していくとともに、観
光地などについてはボラ
ンティア等の方々と協力
し、清掃活動による環境
保全に努める。



4 加齢性難聴者への補
聴器購入補助について

①高齢化率県下一といわ
れる当町において、早急
な対応が必要では？

町長 聴覚機能の低下に
より、日常生活に支障を

きたしている65歳以上の
高齢者を対象に、補聴器
購入費の一部助成を令和
8年度の実施に向けて検
討している。



田中 哲也 議員



1 町内に設置されている案内看板や電線の管理について

①町内に設置されている案内看板の草刈りや枝払いの状況は？

産業建設課長 町道・県道・国道沿いの案内看板のうち、町が作成した案内看板周辺の草刈りや枝払いは町の作業員により実施している。

また、県道や国道に設置されている案内看板については、県から委託されている業者により管理されているものと認識している。

Q. 県設置の案内看板や

A. 県への要望を繰り返し行う
電線の管理徹底を！

再質問

県道や国道沿いの案内看板は見えづらかったり、倒木が看板に寄りかかっているものもある。管理者への連絡を行っていただきたい。

産業建設課長 県管轄のものに関しては、県への要望を繰り返し行っている。

②町道・県道・国道沿いの電線への枝払いの管理状況は？

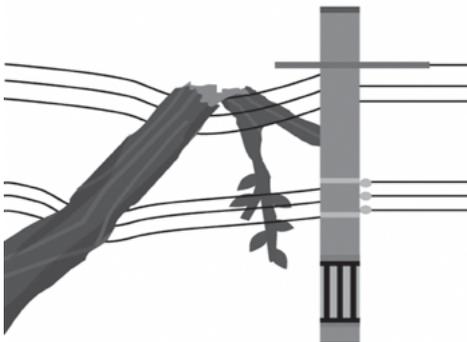
産業建設課長 枝払いの管理は送配電事業者や通信事業者、土地・樹木の所有者により行われている。また、樹木が電線に接触している、もしくは接触しそうな場合は、速やかに電力会社や通信事

者へ対応を依頼している。

再質問

電線への倒木や枝の伸び、つるの絡まりが目立つようになってきている。電線についても管理を徹底していただきたい。

産業建設課長 ご指摘のとおり、まだ対応されていない箇所もあるため、引き続き要望を行う。



木が寄りかかっている箇所（右）や、つるが電線に絡んでしまっている箇所（下、右下）の一部



小倉 潤二 議員



1 ナラ枯れのこれから
の対応について

① 関係機関との協議はな
されたのか？

産業建設課長 今後の対応について県と協議したところ、令和7年度から新たに被害が発生した市町村を除き、被害木の除去については原則として森林所有者が行うこととするとの回答をいただいている。

再質問

ナラ枯れの被害本数は？
産業建設課長 今年度、青森県が調査したところ、町内5地区で95本の樹木に被害が確認されている。

② 町としての対応は？

産業建設課長 町としては県の対応と同様に、基本的に森林所有者へ対応を依頼するが、早急な対応が必要と判断される箇所は、所有者と協議した上で、町が被害木の除去を行いたい。

2 広域消防の防災無線の周知について

① 現在、消防の緊急車両が出動する際、住所名での放送を行っているが、地区名での放送に変更できないか？

A. Q. 山土無断搬出について町民への謝罪は？ 議会だよりにより報告させていたただく

総務企画課長 広域消防

今別分署へ確認したところ、分かりやすい地区名での放送について、対応可能との回答をいただいている。

3 各委員の報酬について

① 各委員の報酬について検討委員会を立ち上げ、これまで2回ほど協議がなされたと思うが、現在の協議の進捗状況は？

副町長 委員会は今ままで2回開催され、次回会議においてこれまでの検討内容を踏まえ具体的な見直しの内容を整理し、取りまとめた結果を町長へ報告することとしている。この検討結果を踏まえ、見直しが必要とされる報酬額について、令和8年3月定例会において関係条例の改正を提案したい。

4 町有財産に関する発言について

① 1年以上が経過している山崎地区の土砂無断搬出の問題における町長、副町長の発言について、どのような形で謝罪を行うのか検討した結果は？

町長 議員のおっしゃった失言については、改めてお詫び申し上げます。その上で、今後どういった形で謝罪するかという点について、議員とも相談しながら決めていきたい。

再質問

この問題について、議会に對しての謝罪はあったが、町民への説明及び謝罪は行われていない。町民からもこの問題の経過について問われることが多いため、町の広報、もしくは議会だよりで町民に向けて謝罪すべきでは？

町長 議員からも提案をいただいたので、議会広報委員長とも相談し、議会だよりで文面を載せたいと思う。

※文面については次ページに掲載されています。



公有財産の無断搬出事案についてのご報告

令和6年10月及び11月、町有地である山崎地区内の山土採取場所から、山土が無断で搬出された事案について、町民の皆様へのご報告が遅れましたことを、まずもってお詫び申し上げます。

本事案につきましては、無断搬出を行った事業者に対し顛末書を提出させた上で、所要の行政処分を行いました。しかしながら、これら一連の対応について議員から疑義が示され、再審査等を含めた対応を行うに至りました。

その結果、令和7年3月定例会において、町有地をめぐるトラブルの収拾に際し、町側の対応に不備があったとして、私町長及び副町長から議会に対し謝罪を行ったところであります。さらに、令和7年7月臨時会において町政運営の責任者としての責任を重く受け止め、町長は1か月分の給与の10%、副町長は5%をそれぞれ減給する措置を講じました。

その後、これらの経過について町民の皆様への十分な報告がなされていないとのご意見が一部議員からあり、この度改めて議会広報誌の紙面を通じてご報告申し上げるものであります。

本事案における一連の対応を反省するとともに、今後も議会と十分な協議を重ねながら町政運営に努めてまいりますので、町民各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今別町長 阿部 義治

福島県田村市議会「改革未来たむら」会派議員行政視察のため来町

11月6日（木）、福島県田村市議会会派「改革未来たむら」の会派議員3名が、行政視察のために来町されました。

視察内容としては「道の駅いまべつ 半島プラザアスクルの運営について」でした。現在、田村市には道の駅が無く先進的な取り組みなどについて情報を集め、今後の道の駅建設に向けて役立てたいとのことでした。

研修には小倉副議長、道の駅いまべつ 小野駅長、総務企画課より2名が出席し、小倉副議長からの歓迎のあいさつの後、総務企画課より道の駅いまべつの運営についての説明を行い、小野駅長からは質問についての説明を行いました。

研修後には、道の駅いまべつを見学されました。



研修の様子



道の駅いまべつの見学の様子

議会の動き 7年10月1日～12月31日

10月

- 2日～3日 東津軽郡町村議会議長・副議長研修視察（むつ市、六ヶ所村）
- 7日 財政援助団体監査（竜飛今別漁業協同組合）
- 17日 東津軽郡町村議会議長会議長・事務局長会議
- 20日 例月出納検査
- 21日 知内町・今別町友好町締結35周年記念式典（知内町）
- 29日 北海道福島町・吉岡村合併70周年記念式典（本郷議長出席）

11月

- 31日 令和7年度今別町褒賞授与式
- 6日 福島県田村市議会 行政視察（道の駅いまべつ）
- 10日 議員全員協議会
- 11日～14日 東津軽郡町村議会議長会議長県外視察研修、青森県選出国会議員との懇談会及び町村議会議長全国大会（東京都、新潟県）
- 17日 知事を囲む行政懇談会・意見交換会
- 20日 例月出納検査
- 21日 令和7年度東津軽郡町村監査委員実務研修会（蓬田村）
- 25日 議会運営委員会
- 28日 第501回今別町議会定例会（29日、30日は休日のため休会）

12月

- 19日 東津軽郡議会事務局職員研修会（青森市）
- 22日 例月出納検査
- 25日 令和7年第2回青森地域広域事務組合議会臨時会（綿谷議員・中嶋議員出席）
- 28日 東津軽郡町村会町村長と東津軽郡町村議会議長との情報交換会（青森市）

議会を傍聴しませんか

町の動きを知る良い機会です。多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化のひとつです。

傍聴人は先着20名となっております。

※傍聴される方へのお願い

本会議中の録音、写真撮影は今別町議会傍聴人規則第10条により禁止されています。

3月議会定例会は、3月6日から3月13日までの8日間を予定しています。

編集後記

初春の候、雪の日が続く、一層寒さが厳しく感じられる頃となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

この頃、寒さが増すにつれ、事故や災害の報に触れる機会が多くなっているように感じます。そんな中、先般の青森県東方沖地震においては、当町への被害がなかったことにホッとしております。

今定例会においては災害に備えた非常食の購入費用について、補正予算が計上されました。町民の皆様におかれましても、各家庭での災害の備えについて改めて考えていただければと思います。

寒い日が続きますが、皆様健康に気を付けてお過ごしください。

議会広報委員

中嶋 惠

議会広報委員会

- 委員長…本間 闘士
- 副委員長…綿谷 敏明
- 委員…中嶋 惠
- 委員…本郷 良克